

# 広島市植物公園 見どころ案内

2024年4月1日  
通巻第615号

## カタクリ (ユリ科)

北東アジア・日本原産。かつては鱗茎から片栗粉を取っていました。種子はアリによって運ばれて広がります。

## リビングストーンデージー

(ハマナスナ科)

南アフリカ原産の半耐寒性一年草。花は日中に開き、夜間や雨天時は閉じます。

カランコエ  
ラケナリア・カリスタ  
アデニア・グラウカ

ゼラニウム展 (展示温室)  
3/27 にペラルゴニウムを追加し、より豪華になりました。  
ナショナルコレクション認定の変わり葉ゼラニウム品種群やニオイゼラニウムもご覧ください

リビングストーンデージー

ムラサキハナハナ

ヒヤシンス、ハナニラ  
チューリップ

## ナンヨウザクラ

(トウダイグサ科)

キューバ原産の常緑樹。葉が提琴(ていきん・バイオリン)に似ていることから名前が付けました。桜の仲間ではありません。

★大温室で見頃の花 ペニヒモノキ、ラッセリア、タコノキ(実)、ナンヨウザクラ、カエンボク、ブーゲンビリア、ユウコクラン、洋ラン各種、[バナナ各種、チューインガムノキ、ココヤシ、パパイヤ、ソーセイジノキ、コーヒーノキ(以上は果実)]、クロツグ、ツンベルギア、カブダチクジャクヤシ、ベニバナトケイソウ、オオホウカンボク、オオバナソシンカ、ルリハナガサ、ウナツキヒメフヨウ、ヒメアリアケカズラ

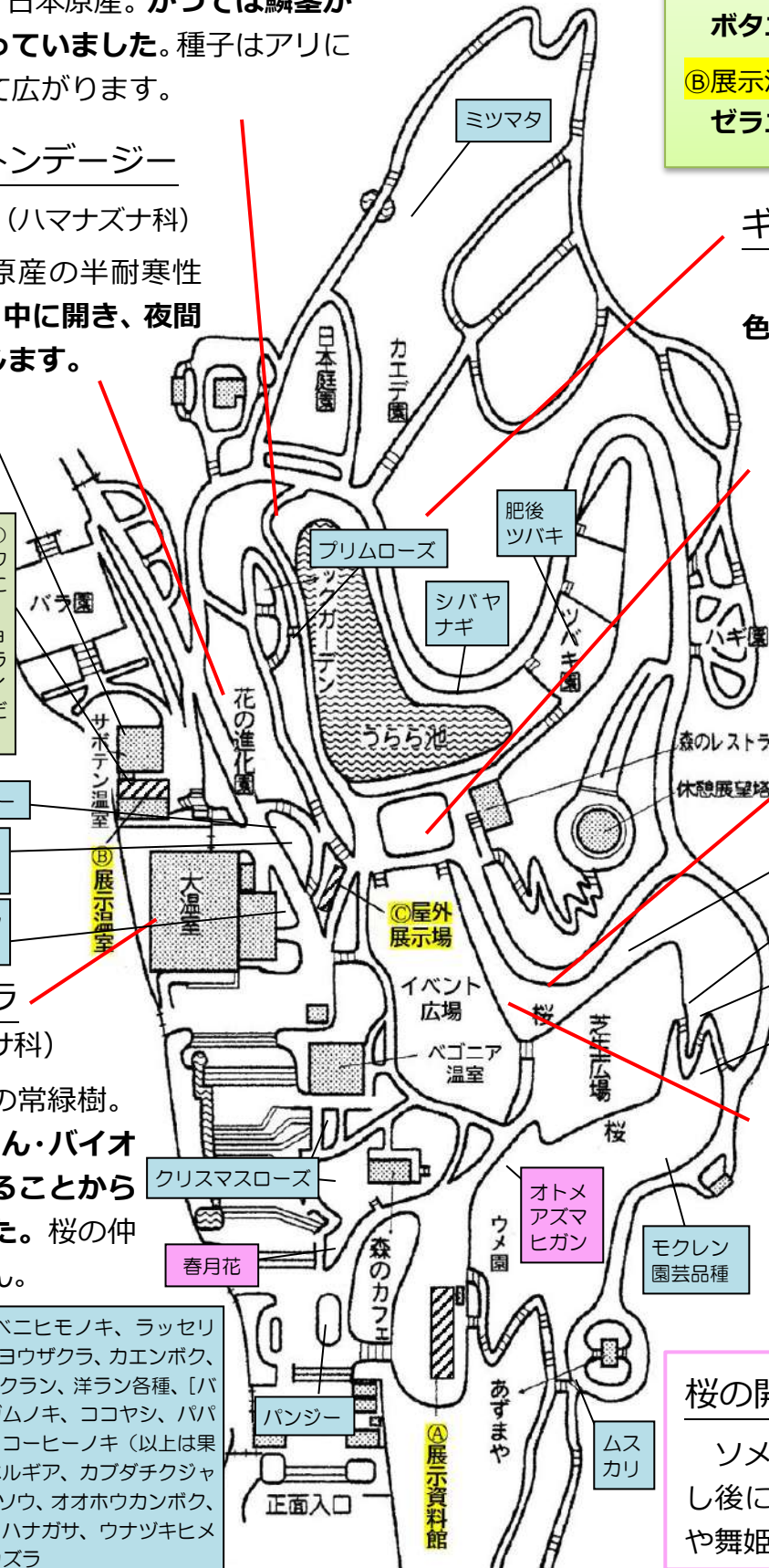
今週の  
見どころ案内  
掲載植物

現場にはこの表示がしてあります。

展示会のご案内

①展示資料館  
「草木染の世界」展 (3/2~4/4)  
ボタニカルアート展 (4/6~5/6)

②展示温室 (3/2~4/14)  
ゼラニウム展



## ギンヨウアカシア (マメ科)

オーストラリア原産。葉が銀色であることが名前の由来。

## ネモフィラ (ムラサキ科)

北米原産の1年草。花の色と葉の形から、和名は瑠璃唐草(るりからくさ)。

## ソメイヨシノ (バラ科)

江戸時代に染井村(現在の豊島区駒込)の植木屋が「吉野桜」と呼んでいたことが名前の由来。

リキウバイ  
マメザクラ  
カリン  
紅枝垂

## コシノヒガンザクラ

(バラ科)

「越の彼岸桜」の名前は越国(今の北陸周辺)で見つかったことに由来。お花見のおすすめスポット。

## 桜の開花状況

ソメイヨシノが満開になった少し後に、ヒロシマエバヤマザクラや舞姫などが見頃を迎えます。